

# 行政報告

(令和8年第2回定例会【3月】提出)

安芸太田町

## 1 行財政審議会について【総務課】

本年度の行財政審議会では「公共施設個別施設の方向性について」ご議論をいただきてまいりましたが、12月5日の審議会では、加えて「定員管理計画」と「中期財政運営方針」の基本的な考え方についてご審議をお願いしました。その後2月18日と27日に審議会を開催し、最終的に「公共施設個別施設の方向性について」「定員管理計画」「中期財政運営方針」の3つの案件について、それぞれ答申をいただきました。

今後は、いただいた答申を踏まえ、それぞれの計画策定を進めてまいります。

## 2 消防団活動について【総務課危機管理室】

12月28日から3日間、恒例の年末特別警戒を実施しました。また1月11日、戸河内ふれあいセンターにて、多くのご来賓にご臨席いただき消防団出初式を挙行了しました。

式典では、一般参加を含め200人に出席いただき、団員の消防団活動に対する功労を称え、消防庁長官表彰をはじめとした表彰状の授与及び新入団員の紹介を行いました。

## 3 定額ライドシェアの実証運行について【企画DX課】

毎週金曜日の夜に運行してきた日本版ライドシェアについて、利用者が1日平均0.6人と低迷しているため、2月9日から2週間ほど、定額1,000円で利用いただく運用方法について実証運行を行いました。

結果、2週間でのべ16人、1日平均1.1人と利用者がほぼ倍増し、特に金曜・土曜・祝日前日は1日平均2人と利用が増えています。

運転手の確保などの課題はありますが、今回の結果を踏まえた今後のライドシェアの運行について、本定例会でご提案いたしますので、ご審議よろしく申し上げます。

## 4 morica(もりか)の運用について【企画DX課・産業観光課】

moricaの利用促進と地域経済の振興を目的に、今年度は11月5日より買い物金額の20%をポイント還元するプレミアムポイントキャンペーンを実施しました。

前年度より還元率、還元上限額を拡大したところ、今年度は、現金チャージとポイント分を併せて約1億2,000万円分の消費を喚起しました。

## 5 安芸太田町物価高騰対応生活応援給付事業について【企画DX課・産業観光課】

食料品などの物価高騰に対する生活支援等を目的として、昨年12月に成立した国の「『強い経済』を実現する総合経済対策」に基づき、本町では2月6日に、全町民5,223人に対して「生活応援給付金」として1万円を地域通貨 morica マネーで給付しました。地域通貨 morica の活用により、県内で最も早い給付となりました。

## 6 安芸太田町物価高対応子育て応援手当の支給について【健康福祉課】

昨年12月に成立した、国の「『強い経済』を実現する総合経済対策」に基づき、物価高騰の影響を受ける子育て世帯への支援として、児童一人につき2万円を現金で支給しています。

令和8年2月末日時点の支給実績については、次のとおりです。

(1) 支給対象者

- 令和7年9月分の児童手当受給者
- 令和7年10月1日から令和8年3月31日までに出生した児童に係る児童手当受給者（0歳から高校生年代までの児童を養育する世帯）

(2) 支給額 児童1人あたり 20,000円

(3) 支給実績（令和8年2月末日現在）

区 分	受 給 者 数	児童数	支給額
一般受給者（町支給分）	199人	365人	7,300,000円
公務員受給者	43人	91人	1,820,000円
計	242人	456人	9,120,000円

## 7 冬の移住フェア「あきおたとつながる DAY」について【地域協働課】

2月7日、恐羅漢スノーパークで「アウトドア好き」をキーワードにPRを行う移住イベントを開催しました。

今年一番の寒気が迫る中、ゲレンデの特設テントに「移住相談ブース」、「ガラポン」や「物販ブース」を設け集客しました。おそらかん節分祭も同日開催され、鬼の滑走や餅つきのほか、子ども向けに大かまくらや雪上ハンモックも設置し大変賑わいました。

町の公式LINE登録を勧めた結果、312名の新規友だち登録につながりました。

## 8 社会実験事業「とごうちストア」について【地域協働課】

昨年9月のオープンから半年が経過し、運営においては仕入れ品目も安定し、売上状況などが全体的に把握できるようになりました。また、リピーターも増加し、地域に必要とされる店舗としての役割も明確になりつつあります。

しかしながら、今後の民間運営を基本とした店舗継続には、売上水準がもう一步届いていない状況です。今後、持続可能な店舗経営の体制を確立していくためにも、もう一年社会実験を継続し、売上向上に向けた、より実効性の高い取り組みを模索していきたいと考えております。

## 9 自治振興会のつどいについて【地域協働課】

2月14日、川・森・文化・交流センターで自治振興会のつどいが開催されました。この会は、地域の取組や課題を共有し、解決策などを一緒に考えることを目的に、自治振興会連合会が主催されたもので、自治振興会を代表する25名が5つのグループに分かれ、自治振興会の運営や活動について意見を交わしました。

各グループからは、役員のなり手不足やコミュニティの希薄化などが共通の課題であることを確認する一方、デジタルの活用や行事の見直しで負担を軽減していることや、地域活動を続けていくことの必要性やそのために工夫していることなど、今後の活動に生かせる事例や意見の発表がありました。

## 10 国民健康保険の運営に関する協議会について【税務住民課】

2月12日、国民健康保険の運営に関する協議会を開催いたしました。

広島県が示す国民健康保険事業費納付金（国保税収納必要額）を確保するため、令和8年度の国民健康保険税の税率について諮問するとともに、新年度予算案とあわせてご審議をいただき、諮問のとおり実施すべきとの答申をいただいたところです。

本定例会には、この答申に基づいた国民健康保険税条例の改正議案を提出しておりますので、ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

## 11 林業フォーラムの開催について【産業観光課】

1月17日、役場で林業フォーラムを開催し、町内外から約50名の参加がありました。

太田川上流域に位置する本町の森林をはじめとする環境の重要性について、林業の視点から改めて考えることを目的として実施したものです。

参加者は、自伐型林業を実践している登壇者の説明に熱心に耳を傾け、近年の林業を取り巻く状況や今後のあり方について理解を深めるとともに、関心を高める機会となりました。

## 12 冬季の観光客数について【産業観光課】

今年度の恐羅漢スノーパークは12月27日にオープンしましたが、雪不足もあり1月までの来場者数は約3万人と昨年比25%の減となっています。他方、地域商社あきおおたでは昨年に続いて沖縄県内の旅行会社と協賛し、雪遊びツアーを企画し、1月に2泊3日で23名が来町し、はじめての雪遊びを満喫されました。

今後も冬季間の観光客増加に向けた誘客PRを実施してまいります。

## 13 神楽振興について【産業観光課】

12月6日、安芸高田市、北広島町及び本町が大阪府堺市大ホールでひろしま神楽関西公演を開催し、本町から松原神楽団が出演いたしました。また、町内神楽団で結成された合同神楽団は、昨年のお阪・関西万博の出演に引き続き、2月22日にRCC早春神楽共演大会で上演しました。当日は20名が参加し、八岐大蛇を披露いたしました。

新年度も引き続き町外への出演にチャレンジし、本町のアピールと団員増加につなげていきたいと考えています。

## 14 道の駅再整備事業について【道の駅推進チーム】

最終的な施設計画の説明と、既存建物の解体工事の着工等に向けて、12月7日に住民説明会を開催し、町内2会場で67人の参加がありました。

本説明会の後、先行工事としての安芸乃国酒造の既存建物の解体が完了し、現在、JA広島市戸河内支店の仮店舗の建設を行っているところです。

来年度からはいよいよ駅舎本体等の建設工事に着工することから、それに先立ち、3月29日に工事内容に関する住民説明会を開催することとしています。

## 15 上下水道料金審議会の開催及び答申について【建設課】

12月5日と1月28日に上下水道料金審議会が開催されました。審議会では、水道料金の具体的な改定金額や、改定に向けたスケジュールについて議論いただきました。

これらの審議を踏まえ、1月30日に、今後10年間は料金回収率（給水に係る費用がどの程度給水収益で賄えているかを表す指標）60%を維持することを目標に、令和8年度と令和13年度の2回に分けて料金改定を実施することについて、安定的な経営を維持する観点から、妥当であるとの答申をいただきました。

本答申を踏まえ、水道料金の改定に向けた関連条例の一部改正と令和8年度当初予算について、本定例会でご審議いただくこととしております。

## 16 安芸太田町病院事業のあり方検討について【健康福祉課】

1月23日、第6回目の安芸太田町病院事業あり方検討委員会が開催され、「安芸太田町病院事業あり方検討委員会報告書」の内容について審議が行われ、2月13日に最終的な報告書を提出いただきました。

この報告書は、今年度6回にわたって開催された委員会での協議に加えて、住民説明会で出された意見も踏まえたうえで、持続可能な病院事業の今後の方向性を9つの項目に分けてとりまとめていただいています。

今後は、この報告を踏まえた病院事業の改革に取り組むこととなりますが、病院事業を取り巻く環境は想定以上に厳しくなっていることから、出来るものから順次進めていく一方で、町民の関心の高い、戸河内診療所の統合については、今後の利用状況の推移を見定めながら、慎重にその時期を判断したいと考えております。

## 17 防災アプリ「防災もりみん」を活用した自治振興会避難訓練について【健康福祉課】

1月25日、昨年度に引き続き下坪野・上坪野地区において、自治会の避難訓練に併せて、スマートフォンのアプリを活用した「防災もりみん」の実証実験を行いました。

当日は、地域の方々（約50名）にご参加いただき、避難等の流れや「防災もりみん」の使用について再度確認するとともに、防災教室としてAED講習も併せて行いました。

訓練は予定どおり終了しましたが、実証実験を通して、要支援者と支援者との連携に一部不具合が生じるなど、さらなる課題も見つかったところです。

## 18 令和7年度健康づくりポイント事業について【健康福祉課】

前年度の反省を踏まえ、今年度は5月から事業をスタートしました。

ウォーキングポイント付与事業では、moricaアプリを登録した町民1,878人のうち、約4割にあたる836件の参加があり、参加者数は毎月着実に増加しています。

また、健康ポイント付与事業では、町が主催する各種講座の5つの事業（計11回）を対象としてポイントを付与するもので、本年2月末日時点で延べ321人にポイントを付与しており、講座参加の動機付けとして一定の効果が見られます。

さらに、新たに取り組んだ高血圧対策ポイント付与事業では、参加者は2人と少人数ではあったものの、血圧測定を定期的に行う習慣づけにつながるなど、生活習慣の改善に向けた成果が得られました。

## 19 生涯活躍のまち 筒賀地域の多世代交流活動について【筒賀支所】

1月31日、筒賀拠点整備に向けた機運醸成の取組みとして、筒賀地域の多世代住民と都市部住民との交流を目的とした「つつがもちつき交流会」を開催し、町内外から約100名の参加がありました。

広島市など町外から参加の皆さんは、午前中は井仁棚田等を散策し、午後から筒賀地域のみなさんと一緒に餅つきを行い、つきたての餅を味わいました。

もちつき交流会後は、ワークショップ報告会として、令和7年度に実施してきた筒賀の未来ワークショップでのアイデアや気づき、目指す方向性を共有するなど有意義な会となりました。

## 20 「ひろしま自然保育認証制度」による本町の就学前施設の認証について【教育課】

本町の豊かな自然環境と地域資源を生かした保育に対し、このたび「ひろしま自然保育認証制度」の令和7年度認証団体として、安芸太田町全ての保育所・認定こども園が認証を受けました。

広島県内の幼児教育・保育施設約1,500団体のうち、これまで80団体余が「ひろしま自然保育認証制度」の認証を受けていますが、自治体内の全就学前施設が認証を受けたのは県内では本町のみです。今後も引き続き、園・所において地域の自然環境を取り入れた保育・教育の更なる推進を図ります。

## 21 学校教育活動について【教育課】

1月28日、町内3小学校による合同授業研修会を行いました。これは令和8年度に予定している「新しい学びプロジェクト全国大会 in 安芸太田 研究発表会」及び令和9年度の「第62回広島県小学校理科教育研究大会」を見据えた研修となり、教職員の授業力向上、児童生徒の学力向上に向けて意識統一が図られました。

また1月24日、25日の2日間、「新しい学びプロジェクト」の成果報告会が東京聖心女子大学で開催されました。本町の取組について実践報告を行うとともに、本町の教員がパネラーとして登壇するなど、これまでの取り組みを外化する機会にもなり、更なる理解促進につながりました。

2月17日には、町内の園所・小学校の管理職と担当者が集まり、1年間の交流活動について報告を行うとともに、新1年生のスタートカリキュラムについて検討し、就学前教育から学校教育へのつながりを確認しました。

## 22 人権フェスタについて【教育課】

12月13日、人権フェスタを戸河内ふれあいセンターで開催し、約70人の参加がありました。開会式では、町内小学6年生から応募のあった人権標語41作品の中から4作品を「もりみん賞」として表彰しました。

人権講演会では、福祉、介護に関する理解を深めるために、まつたに社会福祉事務所の松谷 恵子さんを講師に迎え、演題を「映画『ケアニン』から考える」として、映画を上映し、新人介護士の介護現場での様々な出来事を取り上げ、参加者に感じたことを発表してもらいました。

その他会場では、小学生の人権標語の展示や町内福祉事業所等による体験・展示・販売コーナーを設けたほか、パラスポーツ「ボッチャ」の体験も行いました。

### **23 二十歳を祝う会の開催について【教育課】**

1月11日、安芸太田町二十歳を祝う会を川・森・文化・交流センターで開催しました。二十歳を迎えられた57人のうち34人の出席があり、加計高等学校の卒業生（町外中学校から入学）の出席は、昨年度の2人から8人に増えました。

記念式典では、市河玲さんが新成人としての抱負のほか、県外寮生として黎明館建設への感謝を誓いの言葉として発表し、記念行事では、小学校、加計高等学校のそれぞれの担任の先生からはビデオメッセージ、出席された中学校の担任の先生からもお祝いの言葉をいただくなど新たな門出を祝う会となりました。

### **24 立志式の開催について【教育課】**

2月7日、青少年育成安芸太田町民会議主催の立志式が川・森・文化・交流センターで開催されました。町内中学2年生31人が式典に臨まれ、各中学校の生徒代表者が将来の夢と志を定め、実現に向け努力していく決意を発表しました。

講演では、一般財団法人広島陸上競技協会 評議員の河野 裕二さんを講師に迎え、「立志式を迎えた皆さんへ、伝えたい言葉の一つ一つ」を演題に、みんな違う唯一無二の存在なのだから、比べず・焦らず・諦めず、自分を大切に・人を大切に・出会いを大切にできる人間になってもらいたいと伝えていただきました。

### **25 電子カルテ更新について【病院事業】**

安芸太田病院と戸河内診療所の電子カルテを2月から更新しています。今回の更新では、病院と診療所で別々になっていたシステムを統一し、患者IDも名寄せすることで、どちらからでも診療記録・投薬内容および検査結果が閲覧できるようになりました。今後、より安全で無駄を省いた効率的な診療体制の構築を図ってまいります。